

2016アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [岡山県立岡山一宮高等学校] 担当教諭名 [目崎 浩子] (ユネスコ部 18名)

相手国・地域 [フランス]

海外学校名 [Lycée Charles STOESEL] 担当教諭名 [Alix Remy]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	部活動	アートマイルプロジェクト	30

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	Fair Trade for the Better World
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	自国の文化と輸出商品を伝え合おう。フェアトレードについて理解・関心を深めよう。他国を知る姿勢を大事にしよう。



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> ・相手校とスムーズな交流ができ、2回のスカイプ通信を通して、相手校を身近に感じることができた。 ・壁画だけでなく Xmas やバレンタインなどの文化行事についてもカードを交換するなど交流を深めることができた。 ・相手校が日本のことについてよく調べてくれており、日本の印象について興味深く知ることができた。また、相手が熱心に取り組んでくれる分、生徒の刺激になり、フランスについても輸出品を中心に熱心に調べることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・フォーラムやメールでのやり取りが主になったが、代表者1人がやり取りするようになるのがやや残念であった。 ・学習するのは人数が多くてもできるのだが、絵を描く段階になると大人数で取り組むのが難しく、実際に描くのは10人までが限界である。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
もともとアートマイルの壁画を描きたくて入部してきた新入生が多かったが、ただやりたいだけで、何をしたいのかははっきりとしていなかった。相手校とテーマを話し合ううちに、ただやりたいだけでなく、実際に何を描きたいかが具体化してきた。その中で、相手についての知識を得ることがいかに交流を円滑にするかが体験できたようである。	相手校の先生と教員同士で打ち合わせをして、それを生徒に伝えるのがスムーズな進行につながると思っていたが、相手校といったんつながると、SNS等を使って自分たちでどんどん輪を広げて、相手に対する興味関心を深めていった。途中からは完全に生徒が中心に壁画の制作を進めることができた。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	9月	<ul style="list-style-type: none"> ・フォーラムに写真と名前をアップする。 ・スカイプで自己紹介とテーマについて意見交換する。 	名前も、言いたいことも、今一つ相手に伝わっていないもどかしさを感じていた。相手が授業の時間でスカイプをしていることから1時間弱しか取れず、次回いかに要領よく伝えたらよいのか話し合いをしていた。	部活動3
共有 テーマ学習	10月	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回目のスカイプを行う。 ・お互いの国のイメージを伝え合う。 ・テーマの決定。”Fair Trade for the Better World” 	前回のスカイプで、言葉だけではなかなか伝わらなかったのを、絵や写真を用意して伝え合った。こちらはフランス語を、フランス側は日本語をそれぞれに頑張って練習した。それが伝わって双方に歓声を上げていた。	部活動8
融合 想いを合せた メッセージ 壁画デザイン	10月	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマをもとに、構図を考える。 ・相手側に構図の提案をし、最終決定を行う。 	生徒が考えた図案5種類をフォーラムにアップし、フランスの生徒に選んでもらった。スカイプ後もフォーラムや SNS を使ったやり取りが頻繁にでき、英語での作文を自発的に ALT に確認してもらいに行っていた。	部活動7
創造 壁画制作	11月 12月	<ul style="list-style-type: none"> ・レイアウトの確認をし、描くものの紹介をフォーラムとメールで行う。 ・壁画の作成をする ・フランスの高校とのやり取りや、壁画を描いている様子を、ユネスコ部のニューズレターにして、全校生徒に配布した。 	レイアウト等最終決定をおこない作成に取りかかった。ユネスコ部員を中心に、他生徒にも一筆でも塗ってもらえるよう校内での呼びかけを積極的におこなった。その結果、美術部や写真部、運動部も数部参加してくれた。	部活動10
評価 振り返り 自己評価	1月 2月	<ul style="list-style-type: none"> ・フランスの高校の図案をみて、リクエストを送る等やり取りを行った。 ・12月にももらった Xmas のプレゼントのお礼に、今度はバレンタインのカードを作成しフランスに送った。 ・フランスの高校の都合で、壁画を日本に送り返す日が3月末頃になったため、鑑賞会は送られてきた写真で行った。 	本物の壁画を用いての鑑賞会ができないので、送られてきた壁画の写真をニューズレターの記事にして全校生徒に配布した。次年度4月には本校図書館に本物の壁画の展示をし、新入生を中心に鑑賞の時間をとる予定にしている。	部活動2

■学習目標(つけたい力)と成果(ついた力)について教えてください。

「目標」先生が指導に当たって重視したことをABCで記入(A:特に重視した B:重視した C:特に重視しなかった)

「成果」先生の手応え(5:とても身についた 4:身についた 3:どちらともいえない 2:あまり身につかなかった 1:身につかなかった)

学習目標・つけたい力	目標	成果	成果についてそう感じた場面・理由
自文化の理解	A	4	スカイプの際、相手国が日本のイメージをいろいろ教えてくれたことをきっかけに、輸出品を中心に自国のことに改めて関心を持ったようである。
異文化の理解	A	4	壁画にフランス人のキャラクターを描く際、フランスの学校のある地域の伝統的な祭典等の説明を受けて、自分たちでもインターネット上で説明を探す等積極的に行動していた。
コミュニケーション力 (説明・共感・英語)	A	5	今回はフランス語も頑張った。学校のALTがフランス語ができたこともあり、特訓してスカイプの時に使ってみた。相手が日本語で一息懸命伝えてくれることがうれしくて、自分たちも相手国の言語でできることを伝えてみようと思ったのがきっかけだ。自分が嬉しかったことを相手にもと思うことが、友好的なコミュニケーションの基本でもある。
情報活用能力 (情報収集・発信)	B	4	SNS やフォーラムを使い、相手校との情報交換を密に行い、そこから助言を得て自分たちの活動につなげていた。
人間関係をつくる (学級内・海外の相手)	A	5	実際に壁画に携われる部員が少なかったこともあるが、全校生徒に参加を呼びかけ、協力してもらえるように情報発信を熱心に行った。
協働する力 (役割分担・協力)	A	4	絵を得意とする生徒を中心に役割分担をしっかりと行い、限られた時間を有効に使うことができた。
学習を追究する意欲	C	4	学校行事がひしめく中、できることを分担してよく頑張った。
表現力 (伝えたいことを言葉・絵で表す)	C	5	フェアトレードのマークをデザインの中に入れてうまく表現できたと思う。また冬以外の、日本の3つの季節を絵の中に表現できた。日本の文化をのぞき込むフランスの子どもたちについても、相手国のアドバイスをもとによく描けた。
評価する力 (作品の鑑賞・学習の自己評価)	C	4	今回は相手校の都合で年度内の鑑賞会を持ってないことが分かってすぐに、相手校から送られてきた壁画完成版の写真を使ってニューズレターを作成し全校生徒に配布していた。